

FLAMENCO

GYPSY



ジプシー、放浪の民、神秘と情熱の黒い瞳、褐色の肌、そしてフラメンコ長い黒髪と真っ赤な衣装を翻し、激しく床を踏み鳴らす踊り、フラメンコギター、カスターネット、もの悲しい歌。

生まれながらの漂白の民、ジプシー。世界各地を放浪する彼らは、英語ではジプシー (GYPSY)、ドイツ語ではツィゴイネル (ZIGER) と呼ばれるが、彼らは自らを"ロム" (ROM) と呼ぶ。これは人間を意味する言葉であるという。彼らはインド北西部を故郷とし、9~10世紀頃から西アジアへ、そこからエジプトへ、欧州各地へ、小アジアへ、シベリアへ、さらに海を越えて南北アメリカへ、オーストラリアへと流れ、放浪し続けている。そして現在は、バルカン半島にその純粋な集団を多く残している。世界中に放浪、あるいは定着してしまっただけの集落を持つジプシーを含めて約500万といわれる。



彼らの旅は、ロバや牛の背にその世帯道具を乗せ、帳馬車を引かせ、数家族から30家族の血縁集団である種族で移動の生活をする。星や月を崇拜し、呪術的な信仰を持ち、汎神論的であり善神と悪神が存在し、人間は動植物に転生すると信じられている。種族には、指導者であり司祭であり裁判官である首長と、伝統を守り婚姻をつかさどるフリー・ダイ (種族の母) と呼ばれる老女が居る。

又、彼らは時々盗みをすると言われるが、山野で採取した生活の名残りであるという。彼らの職業は、歌舞音楽師、占い師、ばくち屋、鍛冶屋などである。

生まれつき音楽に秀でた彼らは大道などで、スペインのアンダルシア地方に伝わる歌を唄い (カンテ・フラメンコ)、踊り (バイレ・フラメンコ) 歌舞音楽師として町から町へと旅をする。フラメンコは即興であり、ふたたび同じ踊りかたをしないという。



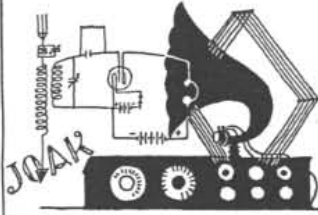
THE LAST PARTY

Milk Hall

ミルクホールでは、毎年その年最後の月の最後の土曜日の夜に "THE LAST PARTY" (本当に最後の、又は最高のパーティ) と題してミルクホール主催の一番大きなイベントとしてのパーティが開かれます。このパーティでは私達の友人達、いつものお客様、そしてこのパーティに始めていらっしゃるお客様と、私達が一緒におおいに楽しみましょうというパーティです。今年は特に、プロのダンサーとギタリストを招いての、フラメンコのライブステージそして昨年も好評だったミルクホール主催のカジノでのルーレットゲーム、フリーのダンスタイム、そしてお料理、お酒などを深夜まで、一年に一夜だけのミルクホールのナイトクラブを、存分にお楽しみ下さい。

1987 12.26 The Last Saturday

SCHEDULE PM 7:00 open
 ライブ・ステージ
 フラメンコ PM 7:30~
 ・ダンサー 草野 桜子
 ・ギター 原田 和彦
 カジノ OPEN PM 8:30
 ルーレットゲーム
 PM 11:30~ FREE TIME
 FEE MAN ¥ 5500
 LADY ¥ 4500
 (FREE DRINK・FREE FOOD)



お問い合わせ、お申込みは、又はカウンターまでお申し付け下さい。

INFORMATION

日本の師走はどうしてこんなに慌ただしく忙しいのでしょうか。大晦日に向けて日本中が走り回っているようです。1987年は皆様にとってどんな年だったのでしょうか。ミルクホールでは今年も一年間様々な行事を行いました。ダーツリーグ、トーナメント、秋の市や釣り大会、ミルクホールタイムスの発行など、オークションはしばらくの間お休みしておりますがいつか必ず再開したいと思っております。来年もまた引き続き色々な企画をたて、皆様に楽しんで頂きたいと考えております。そして何より料理を大切にしていきたいと思っておりますので御期待下さい。



ミルクホールタイムス編集部より
 いつもミルクホールタイムスを御愛読頂きまして有り難う御座います。5月号、9月号編集部多忙のため休刊しました事改めて深くお詫び致します。又、現在御愛読頂いている方で前の号を読んでいらっしゃる方に創刊号より編集いたしました物、御希望の方に分けて致します。お気軽にお申込み下さい。



ミルクホール一同より
 今年一年間、ミルクホールを御利用下さいまして有り難う御座いました。ミルクホールは、年末12月30日より1月10日まで休まず営業致します。又、大晦日はオールナイトで営業致して居りますので御利用下さい。来年が幸い多い明るい年になります様、従業員一同心より御祈り致します。